

2025年度

南三陸少年少女自然調査隊

ネイチャー ニュース

Nature News vol. 3



【八幡川の生きもの調査】

令和7年7月27日（日）8:30～12:00
（種同定は14:30まで）

場所：八幡川（志津川中学校下）
南三陸町自然環境活用センター

スタッフ：株式会社エコリス
南三陸ネイチャーセンター友の会
南三陸町自然環境活用センター



☆何の調査をしたの？

南三陸高校自然科学部のみなさんや自然科学部 OG と一緒に八幡川の生きもの調査をしました。調査場所は、小森ふ化場前で行う予定でしたが、この暑さで現場の川の水が無くなってしまったため、調査対象区域を変更し、志津川中学校下で行いました。高校生の先輩たちと一緒に虫や魚を採りました。また、将太博士のレクチャーの後、環境 DNA 調査用の川水のろ過作業も行いました。午後には、活用センターの実験室で、採ってきた生きものの種同定作業（種類別に分けた生きもの の名前を調べて数を数える）と写真撮影を行いました。



環境 DNA 用川水ろ過作業



投網

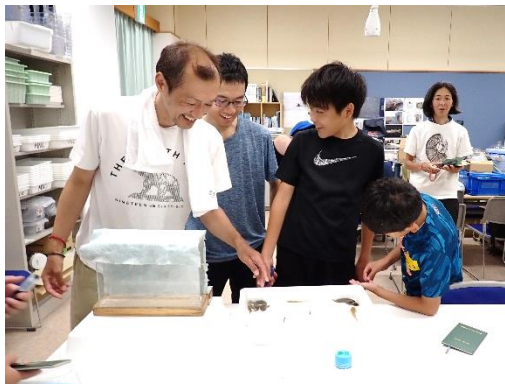


川の生きもの採取

☆どんな生きものたちがいたか教えてもらったよ！



☆午後は活用センターで種同定作業をしたよ！



☆環境 DNA って何？

DNA は、人の目では直接見えませんが、横のイラストのようにグルグルとした二重螺旋(らせん)の形をしていて、生物の遺伝子情報を親から子へと伝える物質です。DNA を調べると、個人の識別や生きものの種類の判定などができます。今回の調査の場合、川水に含まれるさまざまな生きものの DNA (環境 DNA: 排泄物やはがれ落ちた皮ふ、ウロコなどの DNA) を、川水からろ過して、どんな生きものが八幡川に住んでいるのかを調べます。ちなみに、調査結果が分かるのは 12 月ごろになるそうです。



☆どんな生きものが採れたの？

〈魚〉アユ、ウグイ属(幼魚)、ヌマチチブ、スミウキゴリ、ウツセミカジカなど

〈エビ・カニ〉モクスガニ、ヌマエビ類

〈虫〉ヒラタカゲロウ属、チラカゲロウ、フタツメカワゲラ属、アメンボなど

〈貝類〉サカマキガイ

〈その他〉ミズダニ類、ウズムシ類

合計 約24種でした。



【次回の予定】

8月23日(土): スノーケリング海中観察&アマモの種取り

今回は、スノーケリング海中観察を行います。海の中にある海藻と海草(うみくさ)の森「藻場(もば)」を自分の目で見る絶好のチャンスです! 「泳げないなあ」と不安な隊員でも、大人のサポーターの方々がそばについてくれますので、ぜひご参加ください!

